昭和医科大学雑誌　第85巻　第6号〔549–554頁，2025〕

第411回　昭和医科大学学士会例会（医学部会主催）

日　　時　2025年7月5日（土）13：00～15：50
場　　所　昭和医科大学4号館　301・302号教室
運営担当　肉眼解剖学，生体制御学，医科薬理学，医学教育学，
循環器内科学，呼吸器外科学，リハビリテーション医学，
形成外科学，集中治療医学

研究紹介講演

1. 光学・蛍光・電子顕微鏡×AI解析による新規遺伝性腎疾患診断法

昭和医科大学大学院医学研究科顕微解剖学分野
川西　邦夫

Alport症候群の約80％はX連鎖形式で遺伝し，女性患者は男性に比べて臨床症状が軽度であることが一般的とされる．しかし，日米の疫学研究により，X連鎖性Alport症候群の女性患者の約15％が40歳までに末期腎不全（ESKD）へ進行することが報告されており，予後予測のための有効な診断指標の確立が急務となっている．本研究では，Alport症候群モデルマウスを用いて，低真空走査型電子顕微鏡（LVSEM）観察に最適化された改良型PAM銀染色法を開発し，糸球体基底膜（GBM）構造の高解像度可視化を実現した．加えて，同一組織切片から光学顕微鏡像，免疫蛍光染色像（IV型コラーゲンα5鎖）およびLVSEM像を統合的に取得可能な単一スライド解析系を確立した．さらに，ヘテロ接合型雌マウスの光学顕微鏡像を対象に，正常と異常構造が混在するGBM病変（モザイク病変）を自動的にセグメンテーション・定量化するディープラーニングベースのAI解析アルゴリズムを適用した．その結果，AIによる病変スコアはIV型コラーゲンα5の発現量と有意な負の相関を，また尿蛋白排泄量とは正の相関を示した．本手法は，Alport症候群女性患者におけるGBM病変の高精度評価を可能とし，診断・予後予測の高度化および臨床応用への展開が期待される．

2. 集中治療のヘルスサービスリサーチ

昭和医科大学大学院医学研究科集中治療医学分野
阿部　智一

American Heart Associationは医学研究を，Basic Science，Clinical Science，Population/Health Services Science（Research）の3つに分類しています．このうちHealth Services Research（HSR）は，「誰が，誰に，どのように医療サービスを提供するか」を対象とする学問であり，他分野の知見の医療への応用や，医療の質の評価・改善も含まれます．集中治療，救急，プライマリケアといったGeneral領域では，新薬や新規デバイスの導入は限定的で，既存の手技や薬剤の最適化が求められるため，HSRとの親和性が高いといえます．我々はこれまで，敗血症や外傷などを対象にHSRの手法を応用し，150編以上の臨床に寄与する研究成果を発表してきました．その一部はガイドラインや主要研究にも引用され，PDCAサイクル（Plan＝計画，Do＝実行，Check＝評価，Act＝改善）を通じて臨床に実装されています．さらに本学の集中治療医学講座では，アジア初・最大規模の遠隔集中治療を運営しており，これはOODAループ（Observe＝観察，Orient＝状況判断，Decide＝意思決定，Act＝行動）を基盤とする，医療の質改善を目的とした実践的なHSRの取り組みです．こうした活動を通じて，今後の集中治療におけるエビデンス構築へのさらなる貢献が期待されています．

一般演題

1. 視覚と呼吸リズムの相互作用による身体所有感覚の再調整を低下させるのはパーキンソン病ではなく加齢である

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科脳神経内科学分野
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科生体調節機能学分野
[3] 昭和医科大学藤が丘病院呼吸器内科
正路　大樹[1,2]，本間　元康[2]
政岡　ゆり[2]，小菅　美玖[3]
小菅　将太[1]，内田　有希[2]
阪倉　俊介[2]，松井美彩子[2]
井藤　尚仁[1]，野原　哲人[1]
笠井　英世[1]，黒田　岳志[1]
矢野　怜[1]，村上　秀友[1]
泉﨑　雅彦[2]

【発表内容掲載論文】
Front Physiol. 2024;**15**:1419473.

2. 慢性閉塞性肺疾患患者における呼吸機能，脳体積，精神疾患アセスメントの分析

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科呼吸器アレルギー内科学分野
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科生体調節機能学分野
[3] 昭和医科大学藤が丘病院呼吸器内科
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科脳神経内科学分野
[5] 昭和医科大学保健医療学部保健医療学教育学
阪倉　俊介[1,2,3]，本間　元康[2]
政岡　ゆり[2]，松井美彩子[2]
正路　大樹[2]，小菅　将太[4]
小菅　美玖[3]，眞鍋　亮[1]
吉川　輝[5]，横江　琢也[1,2]
泉﨑　雅彦[2]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

3. 膵切除術後合併症とドレーンバイオフィルム形成の関連性の検討

昭和医科大学大学院医学研究科消化器一般外科学分野
長石　将大，青木　武士
平井　隆仁，松田　和広
柴田　英貴，藤森　聰
草野　智一，田代　良彦
冨岡　幸大，山崎　達哉
齊藤　和彦，篠原由加里
山上　裕機

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

4. アデノウイルス腸炎後に急性腎障害をきたした小児の一例

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科生体制御学分野
[2] 昭和医科大学医師臨床研修センター
[3] 昭和医科大学小児科学講座小児内科学部門
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科小児内科学分野
高須　雄大[1,2]，島　はるか[3]
矢野有紀乃[3]，直江千佳子[3]
加藤　憲一[4]，伊田　夏海[4]
山口　将基[3]，大貫　裕太[4]
松橋　一彦[4]，阿部　祥英[4]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

5. CTX-M-55 型基質特異性拡張型βラクタマーゼ産生大腸菌が分離された尿路感染症の乳児 3 例

[1] 昭和医科大学医学部小児科学講座
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科小児内科学分野
[3] 昭和医科大学大学院薬学研究科薬物治療学分野
[4] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野
[5] 昭和医療技術専門学校
矢野有紀乃[1]，金 澤　建[2]
大貫　裕太[2]，山口　将基[1]
松橋　一彦[2]，阿部　祥英[2]
里　美 貴[3]，安 原　努[4]
福地　邦彦[5]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

6. Receptor for advanced glycation end products を介した Amyloid β oligomer による神経細胞障害機序の解明

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科医科薬理学分野
[2] 昭和医科大学薬理科学研究センター
[3] 昭和医科大学医学部内科学講座脳神経内科学部門
[4] 昭和医科大学医学部麻酔科学講座
中西　達彌[1,2,3]，辻　まゆみ[1,2]
片岡　和之[1,2,3]，齋藤　毬子[1,2,4]
石田　敦士[1,2,3]，木内　祐二[1]
小口　達敬[1,2]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

7. 脛骨偽関節モデルラットに対する多血小板血漿投与における骨癒合促進効果の検討

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科生体制御学分野
[2] 昭和医科大学藤が丘病院整形外科
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科整形外科学分野
辰尾　秋斗[1,2]，奥茂　敬恭[1]
可 知　格[1,2]，神﨑　浩二[2,3]
砂川　正隆[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

8. 取り下げ

9. 核内ケラチン 6A によるヒトパピローマウイルスがん遺伝子の発現活性化

昭和医科大学大学院医学研究科産婦人科学分野
宮村　知弥，小貫麻美子
松本　光司，関沢　明彦

【発表内容掲載論文】
Virol J. 2025;**22**:202.

10. 大腸 T2 癌におけるリンパ節転移リスク因子の検討

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器内科学分野
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器一般外科学分野
[3] 昭和医科大学医学部内科学講座消化器内科学分野
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科臨床病理診断学分野
森田友梨子[1]，工藤　進英[2]
髙階　祐輝[3]，一政　克朗[1]
神山　勇太[3]，仙波　重則[3]
中原　健太[2]，竹原　雄介[2]
小形　典之[1]，林　武 雅[1]
若村　邦彦[1]，澤田　成彦[2]
根本　哲生[4]，三澤　将史[1]
馬場　俊之[1]

【発表内容掲載論文】
DEN Open. 2024;**5**:e70040.

11. 人工知能が大腸病変の内視鏡診断能に与える影響に関する検討

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器内科学分野
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器一般外科学分野
[3] 昭和医科大学医学部内科学講座消化器内科学部門
[4] 昭和医科大学医学部内科学講座緩和医療科学部門
[5] 昭和医科大学大学院医学研究科臨床病理診断学分野

加 藤　駿[1]，工藤　進英[2]
宮田　裕輝[3]，前田　康晴[1]
岩崎　俊斗[3]，川端悠里衣[3]
仙波　重則[3]，澁谷　智也[3]
黒木　貴典[3]，髙階　祐輝[3]
望月　健一[4]，阿部　正洋[3]
佐藤　雄太[3]，桜井　達也[3]
神山　勇太[3]，小川　悠史[1]
中村　大樹[3]，一政　克郎[1]
小形　典之[1]，林　武 雅[1]
若村　邦彦[1]，澤田　成彦[2]
三澤　将史[1]，馬場　俊之[1]
根本　哲生[5]

【発表内容掲載論文】
Dig Endosc. 2024;**36**:341-350.

12. 冠血流予備量比測定に基づいた経皮的冠動脈インターベンションにおける 3 年間の臨床転帰：ニコランジルとアデノシン三リン酸の比較

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科法医学分野
[2] 昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科臨床薬理学分野
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科集中治療医学分野
[5] 昭和医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野

沼尻　祐貴[1,2]，武井　洋介[2]
曽根　浩元[2]，　田代　一真[2]
水上　拓也[3]，　佐藤　督忠[4]
松山　高明[1]，　鈴 木　洋[5]

【発表内容掲載論文】
Int J Cardiol heart Vasc. 2025;**59**:101708.

13. ST 上昇型心筋梗塞における OCT ガイド下プライマリー経皮的冠動脈インターベンションの臨床的影響：TACTICS レジストリのサブスタディ

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科法医学分野
[2] 株式会社マイクロン
[3] 昭和医科大学臨床薬理研究所
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科臨床薬理学分野
[5] 昭和医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野

松川　直樹[1,2]　山本　明和[3]
水上　拓也[4]，　近藤　誠太[5]
松山　高明[1]，　新家　俊郎[5]

【発表内容掲載論文】
Circ J. in press.

14. 膠原病合併妊娠に関する指針の普及度の検討：日本リウマチ学会膠原病妊娠調査小委員会アンケート

昭和医科大学大学院医学研究科リウマチ・膠原病内科学分野

三浦　瑶子，磯島　咲子
矢嶋　宣幸

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

15. 造影 Computed Tomography による細胞外容積分画を用いた膵臓組織構築の推定および術後膵瘻発生リスクの予測

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科臨床病理診断学分野
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器一般外科学分野
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科放射線科学分野
中村　明弘[1]，小川　高史[1]
田中　邦哉[2]，髙橋　裕季[2]
村 井　　聡[1]，田代　祐基[3]
和田あかね[1]，上田　康雄[1]
佐々木陽介[1]，峯岸　裕蔵[2]
松尾　憲一[2]，矢持　淑子[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

16. ファロー四徴症修復術における肺動脈弁温存術の新たなアプローチ：Transannular Delamination 法

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科小児心臓血管外科学分野
[2] 昭和医科大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センター
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科小児循環器内科学分野
堀川　優衣[1,2]，宮原　義典[1,2]
堀尾　直裕[1,2]，藤井　隆成[1,3]
富 田　　英[1,3]

【発表内容掲載論文】
Asian Cardiovasc Thoracic Ann. 2025;33: 179–187.

17. 患児本人の検索が診断の手がかりになった手指腫脹の男子例

[1] 昭和医科大学医学部医学科 5 年生
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科整形外科学分野
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科小児内科分野
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科放射線科学分野
椎葉　未怜[1]，久保　和俊[2]
阿部　祥英[3]，長谷川　真[4]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

18. 見逃された卵巣嚢腫のゆくえ

[1] 昭和医科大学医学部医学科 5 年生
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科産婦人科学分野
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科小児内科学分野
大口　裕人[1]，高橋　華子[2]
小松　玲奈[2]，阿部　祥英[3]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

19. アトピー性皮膚炎患者の病診連携に与えたデュピルマブの影響
—10 年間の動向—

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科皮膚科学分野
[2] 昭和医科大学医学部皮膚科学講座
荻原　麻里[1]，大草　健弘[2]
濱本　龍典[2]，伊藤　雄太[1]
中田土起丈[1]

【発表内容掲載論文】
昭和医科大学雑誌．印刷中

20. 昭和大学藤が丘病院皮膚科における covid-19 pandemic の影響

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科皮膚科学分野
[2] 昭和医科大学医学部皮膚科学講座
村上　遥子[1]，大草　健弘[2]
濱本　龍典[2]，伊藤　雄太[1]
中田土起丈[1]

【発表内容掲載論文】
皮膚科．印刷中.